

墓地に関する意識調査アンケート
報告書

令和5年

東海村 村民生活部 環境政策課

墓地に関するアンケート調査の結果

2023年8月に実施した「お墓に対する意識調査アンケート」の結果は次のとおりです。

<アンケート基本情報>

調査目的：葬送に対する考え方や墓地形態が多様化している昨今の状況を踏まえ、村民の方々の墓地に対する意識やニーズを把握し、今後の村営墓地のあり方の参考とするため。

調査対象：満18歳以上の東海村民

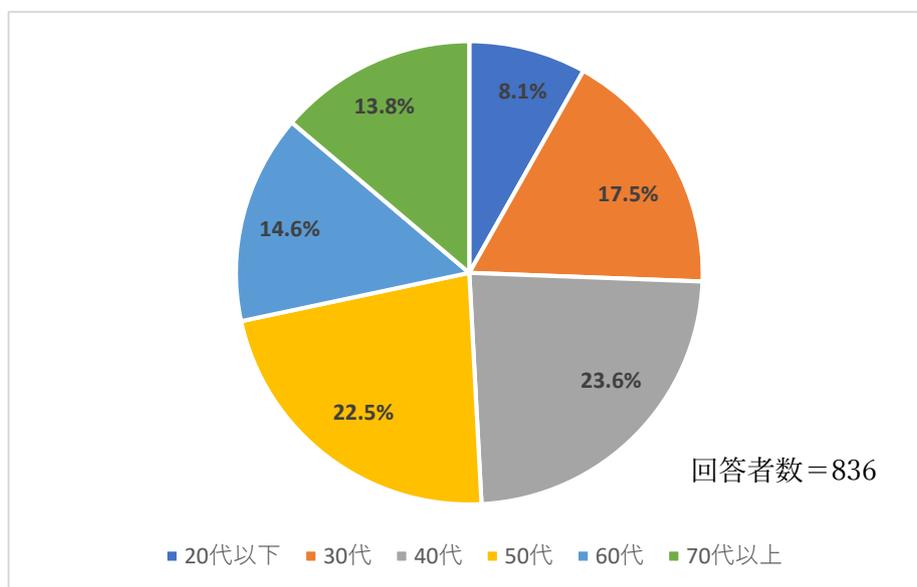
調査方法：WEBフォーム及びアンケート用紙（村内各コミュニティーセンター、総合福祉センター「絆」、村立図書館に設置）

調査期間：令和5年8月10日～令和5年9月3日

回答者：836人

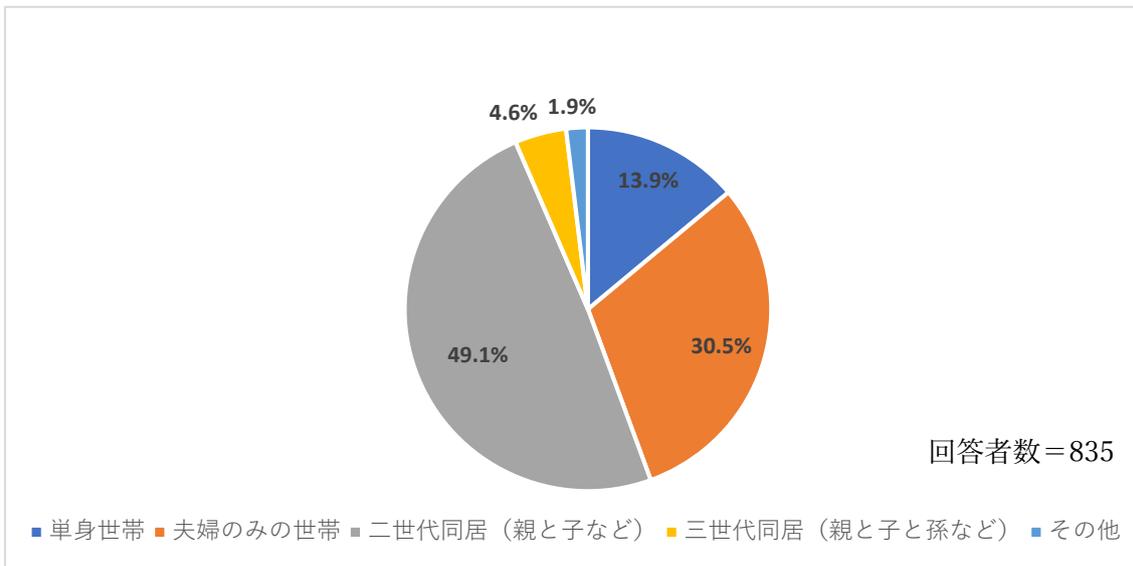
(1) 単純集計

問1. あなたの年代を教えてください。(全員)



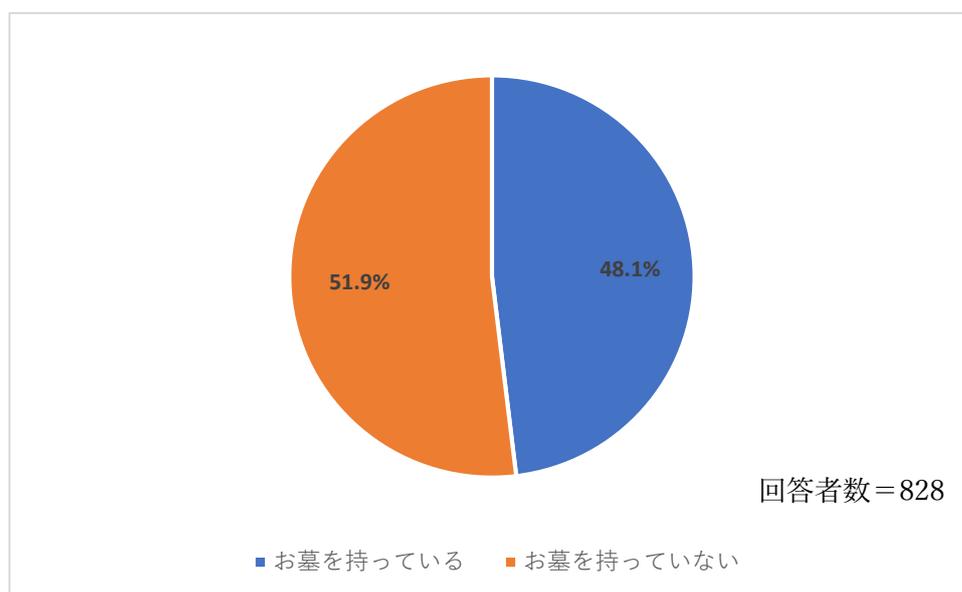
回答者の年齢は、40代が23.6%で最も多く、次いで、50代が22.5%となっています。

問2. あなたの世帯構成を教えてください。(全員)



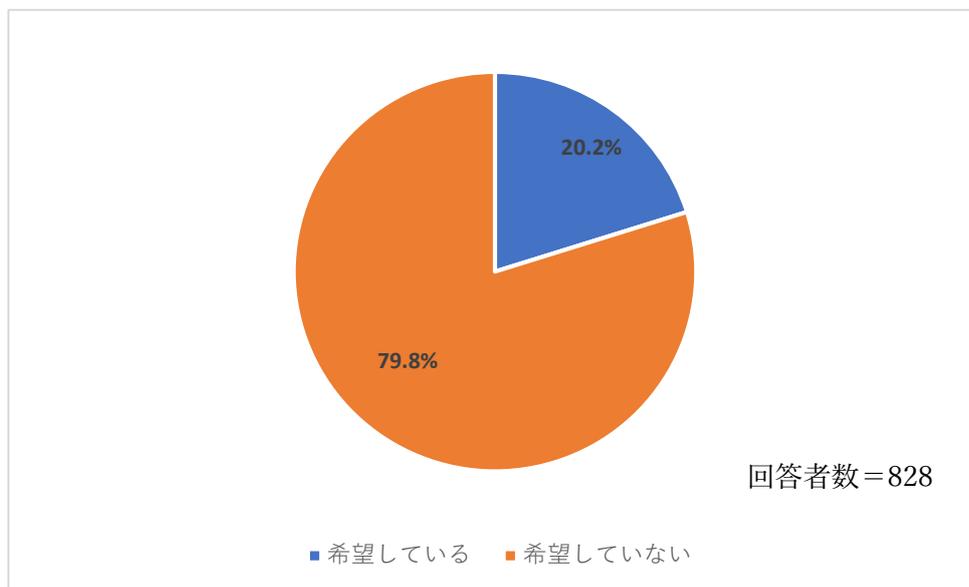
世帯構成は「二世帯同居（親と子など）」が49.1%と最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が30.5%となっています。

問3. あなたは現在お墓をお持ちですか。(全員)



「お墓を持っている」と回答した方が48.1%、「お墓を持っていない」と回答した方が51.9%でおおよそ5割ずつになっています。

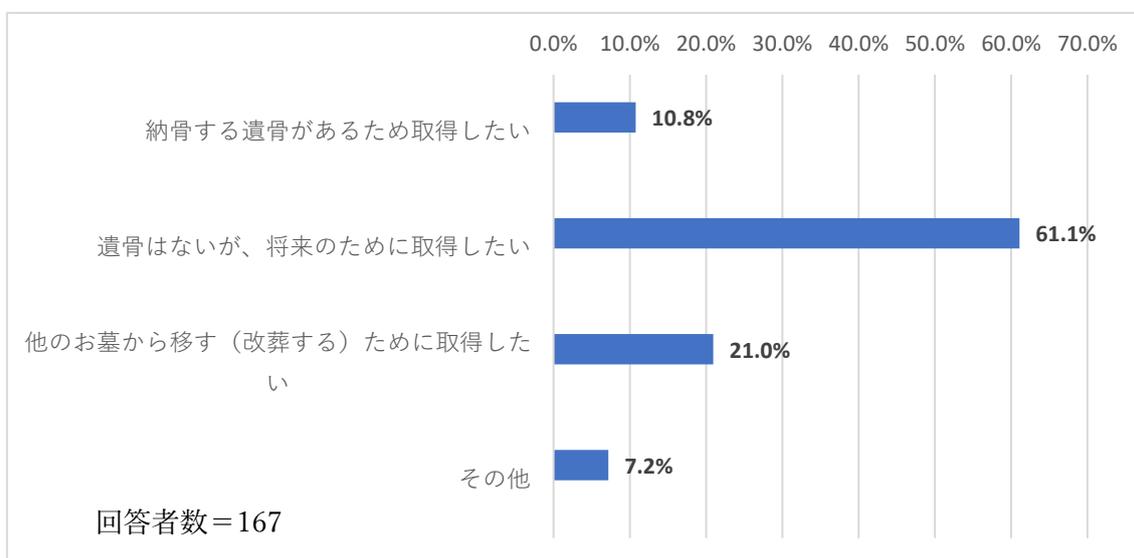
問4. あなたはお墓の取得を希望していますか。(全員)



お墓の取得を「希望している」と回答した方が26.2%、「希望していない」と回答した方が79.8%で約8割となっています。

問5. あなたがお墓の取得を希望している理由を教えてください。

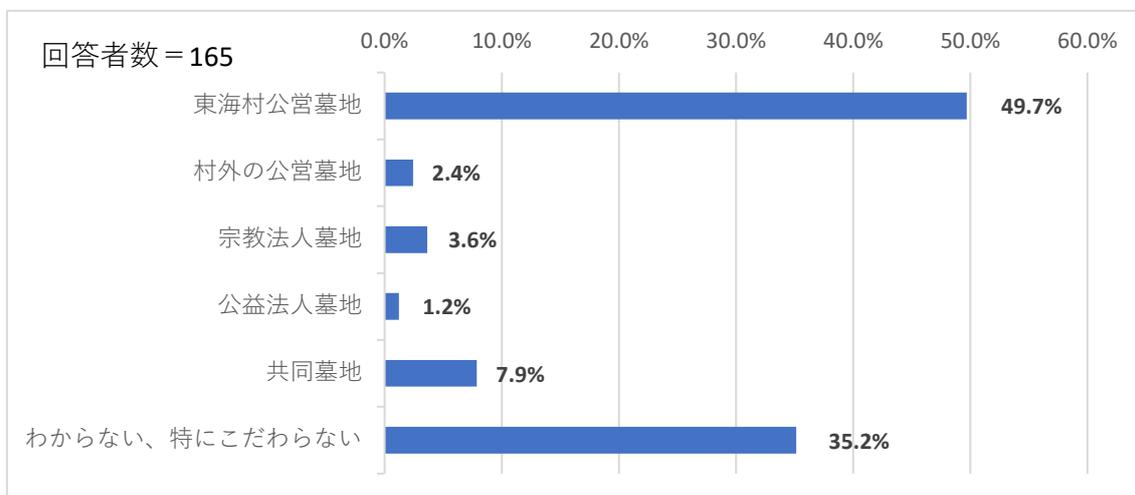
(問4で「希望している」と回答した方のみ)



問4でお墓の取得を希望していると回答した方の取得希望理由は、「遺骨はないが、将来のために取得したい」と回答された方が61.1%と最も多くなっています。

問6. あなたが取得したいお墓の種類は次のうちどれですか。

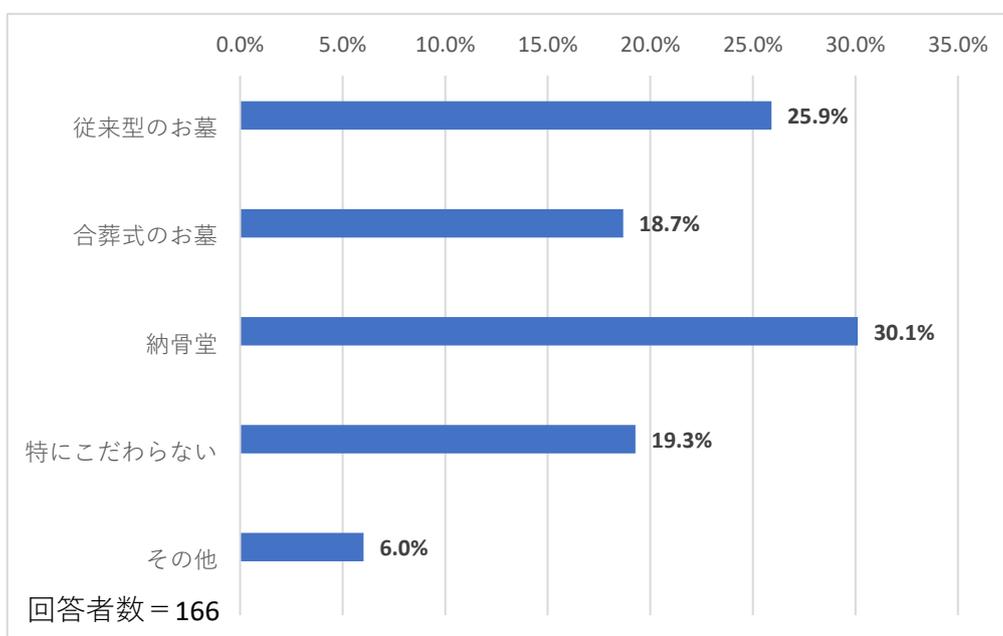
(問4で「希望している」と回答した方のみ)



問4でお墓の取得を希望していると回答した方の取得希望種類は、「東海村公営墓地」と回答した方が49.7%と最も多く、次いで「わからない、特にこだわらない」と回答した方が35.2%となっています。

問7. あなたが取得したいお墓の形式は次のうちどれですか。

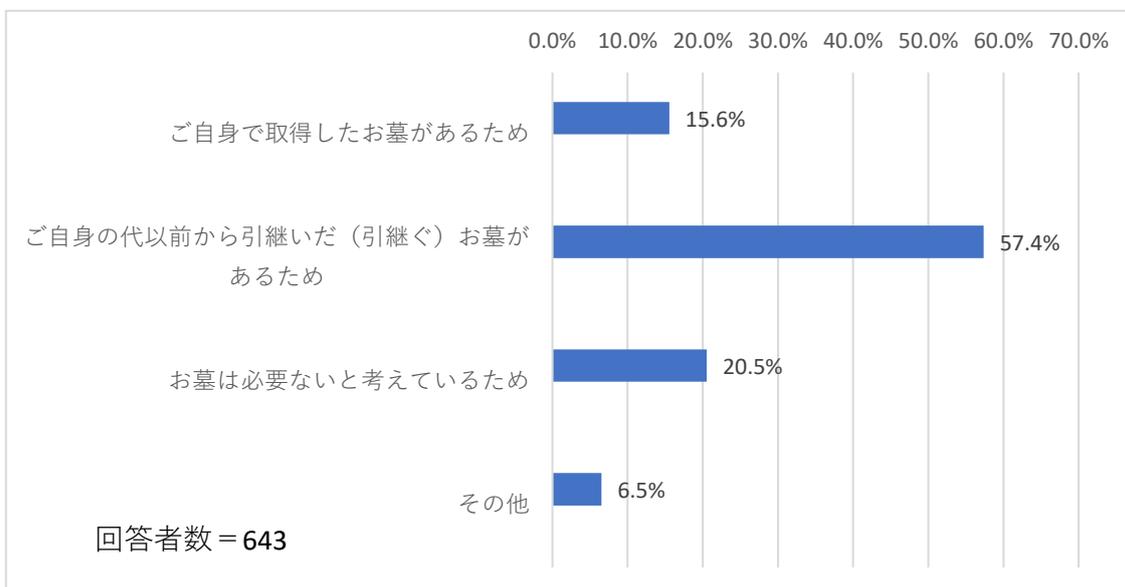
(問4で「希望している」と回答した方のみ)



問4でお墓の取得を希望していると回答した方の取得希望形式は、「納骨堂」が30.1%と最も多く、次いで「従来型のお墓」と回答した方が25.9%となっています。

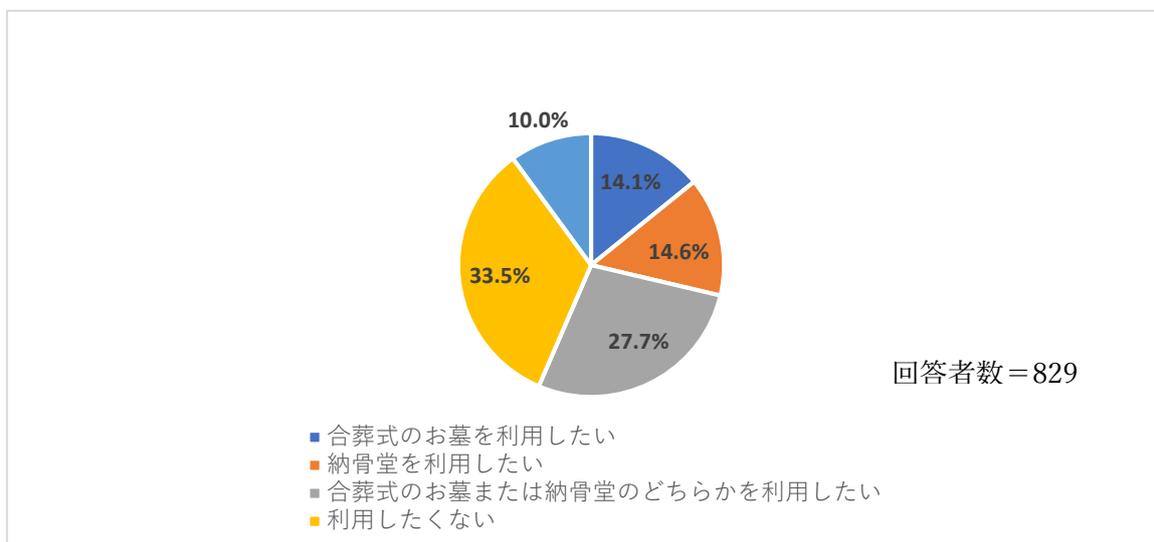
問8. あなたがお墓の取得を希望していない理由は次のうちどれですか。

(問4で「希望していない」と回答した方のみ)



問4で取得を希望していないと回答した方の取得を希望しない理由は、「ご自身の代以前から引継いだ(引継ぐ)お墓があるため」が57.4%で最も多く、次いで「お墓は必要ないと考えているため」が20.5%となっています。

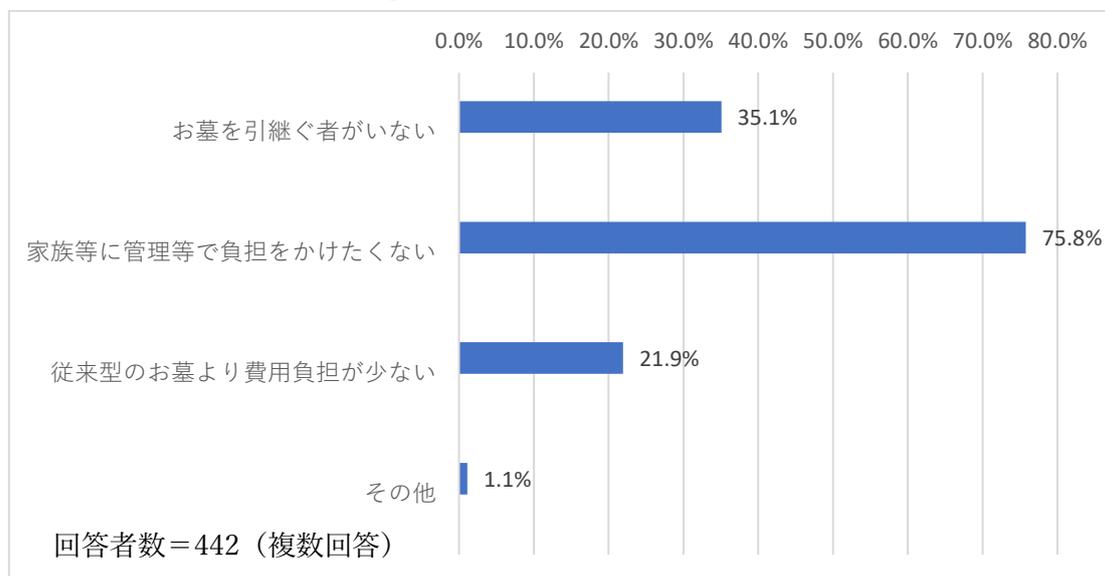
問9. あなたは「合葬式のお墓」または「納骨堂」を利用したいと思いますか。(全員)



「合葬式のお墓」または「納骨堂」の利用については、「合葬式のお墓を利用したい」(14.1%)、「納骨堂を利用したい」(14.6%)、「合葬式のお墓または納骨堂のどちらかを利用したい」(27.7%)を合計すると56.4%で半分以上の方が利用したいと回答しています。

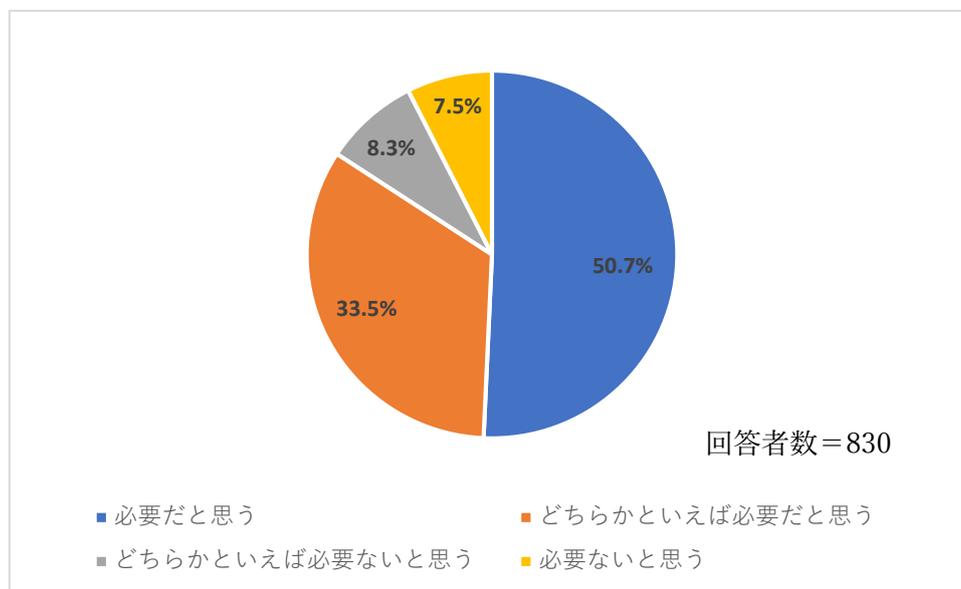
問10. あなたが利用したいと思う理由を教えてください。

(問9で「利用したい」と回答した方のみ)



「合葬式のお墓」または「納骨堂」を利用したい理由は、「家族等に管理等で負担をかけたくない」と回答した方が75.8%と最も多く、次いで「お墓を引継ぐ者がいない」が35.1%となっています。

問11. あなたは村営の「合葬式のお墓」または「納骨堂」は必要だと思いますか。(全員)



村営の「合葬式のお墓」または「納骨堂」について、「必要だと思う」と回答した方が50.7%で最も多く、「どちらかといえば必要だと思う」(33.5%)と回答した方を合計すると84.2%で約8割5分となっています。

問12. お墓に関してご意見・ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

主な内容をまとめた結果は以下のとおりです。

なお、記載については、可能な限り元の文をそのまま記載していますが、分かりにくい表現や文章が長い場合等については、適宜加筆・訂正・中略を行っております。

(1) 墓地の条件について

① 墓地までの距離

- 村営の合葬墓や納骨堂を作るのであれば、高台に作ってほしい。今のお墓が海と川の側にあり、万が一、津波や洪水で流された場合、先祖代々のお墓がなくなってしまう可能性がある。村民が誰でも購入出来るよう値段も高くしないほしい。
- 現在住んでいる所の近くにあれば、将来のプランとして検討できます。
- 「合葬墓」または「納骨堂」はあったほうが良いが、駅近くの場所か交通の便が良いところ。
- 樹木葬を検討しているのですが、近くにはないため、東海村にあると良いと思います。
- 将来、合葬式や納骨堂が必要になる場合、現在住んでいる所から近くにあると、お墓参りに度々行けるので良いと思うしありがたい。
- 知人がわざわざ日立市の合同墓地を購入しました。東海村にあったらと言っていました。
- 日立平和台霊園の納骨堂等の永代供養塔を検討しました。村営墓地で同様の形態が実現されれば、自宅からも近いため、是非早期に実現してもらいたいと思っています。
- 気軽にお参りできる近い所に、綺麗なデザインで清潔感のあるものがあると便利がいいと思う。実家の墓は、山中にあり行きにくく不便で、草取りがしんどいため滅多に行けない。

② 墓地の価格・管理費等

- 埋葬する際に、必要となる土地の面積が少なくすむ樹木葬は、経費が安く出来ると思う。その後の経費も長期的に安価に抑えられる方法が良い。
- 身寄りのない高齢者等が、生前に手続き、住み慣れた地元で安価に納骨できる場所があれば、老後を安心して過ごせると思います。
- 納骨堂については、永代供養代が安く済む等、メリットを感じる人も多くいると思います。
- 年間管理費等の支払いが子世代、孫世代と引き継ぐ必要のない形式を望んでおり、契約時の一括払いで終わる合葬式が良い。

- お寺の檀家になるとお布施等、多額の寄付を要求されることが、代替わりをする際に、親は心の負担になる。公営の墓地は、管理料が高額でないため大変助かっている。
- お墓を引き継ぐ者がいない。2人息子がいるが引き継げる状態ではない。できれば今あるお墓を改葬し、合葬式のお墓に入れたい。その費用は果たしていくらぐらいなのか知りたい。(合葬式のお墓及び納骨堂はどの位の予定額か。)
- 村営であっても、経費・保守・管理費等、初年度に例えば年間分など、何らかの金額は徴収すべきと思います。
- 合葬式墓地及び納骨堂の使用料の設定にもよると思うが、管理料や使用料などの安定した収入が、おそらく減ってしまうのではないかとも思う。収支のバランスを踏まえ、また、承継者の問題も落ち着いたうえで建てるべきではないかと考える。
- 管理者(承継者)がいない(誰かわからない)問題もあるが、合葬式墓地及び納骨堂の必要性はあると考える。管理者(承継者)の問題がなくなるため、その点では必要なのではないかと思う。ただし、管理者(承継者)不明の状態による管理料未納の問題や、使用権取り消しの問題も解消しなければならないと思う。

(2)墓地の整備について

①合葬墓等の整備は不要

- 都会ではないため、地域ではまだまだお墓参りをしている。村内にはお寺さんがあり、永代供養もしています。村外・県外のお墓参りができない人は、自分の居住地近くの納骨堂を利用すると思います。村営で納骨堂を作る必要性を全く感じません。
- 必要なし。合葬式のお墓は、無縁仏や墓じまいを理由に、納骨するケースが多いと聞いた。どこの自治体も、この合葬式に納骨する許容範囲を超えてしまい、骨の処分に困っていると聞いた。
- 村営の「合葬式のお墓」または「納骨堂」は、本来は必要ないと思うが、須和間霊園がある以上いつまでも付きまとう問題となっている。
- 宗教宗派の問題や、今後の世代の死生観の変化によっても取り扱いが変化していくもののため、必要とは断言できないし、やらないほうが良いと思う。ただ、要望はあるのだろうと推測はできる。
- 現時点では必要ないと思いますが、近い将来、「そもそも子どもがいない」、「近くに子どもがいない」、「なかなか実家に帰れず墓の清掃ができない」などの理由により、合葬式のお墓を希望する声が出てくると思います。そのような声が多く聞かれるようになってから設置でも遅くないと思いますが。

- 身寄りがなく、これからは無縁仏のような方も今より増加する見込みもあり、合葬墓地の必要性は高まっていくものと思われます。しかしながら、それを行政が村営として整備する必要性については、必ずしもやるべきとは考えません。民間運営の霊園等での整備の方が望ましいと思うし、村営での設置については住民等からの要望や、都市部や過疎地も含めた全国的なレベルでの方向性などを、総合的に勘案した上で決めていくものなのかなと思います。

② 合葬墓等の整備（民営によるもの）

- 「合葬墓」または「納骨堂」は必要だと思うが、村営の場合は、無理な事を言う人、決まりを守らない人が必ずいる。公設民営という形であれば良いと思います。
- 公営の「納骨堂」等があると、民営と比べ、継続性が期待できるので安心できる。一方で、村に負荷がかかることは心配である。悩ましい問題である。
- 選択肢が増えることは望ましい。村営がいいのかは不明。

③合葬墓等の整備（村営によるもの）

- 村営で是非納骨堂を作って欲しい。
- 是非、納骨堂か合葬式のお墓を作ってもらいたいです。
- 絶対的に納骨堂は必要です。
- 合葬式のお墓、または納骨堂が永代供養であれば安心です。是非、実現化して下さい。
- 墓守りがいない。合葬式施設の設立を希望しています。
- 子供に負担をかけたくないので、永代供養等について、村でも積極的に検討してほしい。
- 村で、公共の納骨堂を用意して頂けると大変ありがたいです。手続きもスムーズになりそうです。
- 村営の「合葬式のお墓」「納骨堂」を強く希望します。村営の樹木葬なども強く希望します。
- 村営のお墓、納骨堂は是非実施してもらいたい。これからの時代に必要と思われます。
- とても重要な調査です。公共の合葬式お墓は必要です。
- 村営のお墓の新規購入を検討している人にとっても、大きな安心材料になります。
- 永代供養してくれる納骨堂を自治体が用意していただければ、潰れる心配がないので安心して生前に購入できると思います。
- 多くの村民が、村営の合同墓や合同慰霊堂の建設を期待している。民間の宗教法人離れや、お寺さん自体の廃業もあり、この事業に期待を寄せる村民は非常に多い。
- 他の市町村ではすでに出来ています。東海村は遅過ぎです。早急をお願い致します。

- 現代は核家族化が進み、お墓を建立しても墓守をする親族がなく、無縁墓地や無縁仏となってしまうため、合葬式・納骨堂の設置を早急に進めてほしい。他市町では既に行っておりますが、東海村においては他市町村に遅れを取っています。早急に検討実行願いたい。
- 引き継いでくれる人がいない、これが大きな悩みです。村で施設を作ってもらえたらとても安心です。住み慣れたところで永眠できるのは、まさに「ゆりかごから墓場まで」の福祉。安心して東海村に住めます。是非作って下さい。
- 時代が変わり、自分の子達は他県や遠方に住むのは珍しくなくなりました。子ども達に墓守の負担はかけたくありません。須和間霊園が合葬式のお墓になっていただけたら有難いです。
- 両親が現役時代から村内寺院でお墓を購入していましたが、娘である私が嫁に出たため、後継者がおらず、村内の別寺院の永代供養に申し込みし直しました。このような世帯は他にも沢山いらっしゃると思われまますので、村営の永代供養墓があればありがたいです。
- 村営の合葬式お墓を是非設置してほしい。ある期間、例えば25年以上を経た現在のお墓を改葬し、合葬式お墓に移せるようにしてほしい。現行の村営のお墓の規定では、お墓の相続人がいなくなったら無縁仏になりますがこれは避けたい。少子高齢化に伴い、相続人不在のお墓が将来多くなります。
- 少子化時代の今日、死後何十年もの間、遠方に住む子供や孫達に負担をかける時代ではないと思います。自分の事は自分で後々の事を考えて始末をしていくべきです。時代の流れです。是非、是非、早急に永代供養的な物を実現して頂きたい。何十年も前から村の方に提案し、お願いしてきました。
- 現在お墓を持っていますが、息子は結婚をしておらず、次の世代の墓守は不可能と思います。できれば、村営の合同式のお墓に移りたいと思います。
- 先日主人が亡くなり、実家の墓には入らないと言っていたので、平和台の永代供養に世話になりました。子供達は東海村に家を建て住んでいるので、村営の合葬とかがあれば、私が亡くなったらそちらに入りたいと思います。
- 現在、須和間霊園を利用しているが、お墓を継ぐ者がいないので納骨堂の建設を希望します。
- 民営では将来の維持管理の継続性が心配。
- 村営の墓地は、民営よりも安心して使えるイメージがある。
- 両親の墓が県外にあり、滅多にお墓参りができない。両親の遺骨は将来、現地で合葬せざるを得ないが、自身は、東海村にお墓を新たに立て、死後もここに住みたい。将来は東海村による合葬が良いのではないのでしょうか。

- このところ家族のかたち、責任感など、従来の当たり前が通じない時代になっており、世間は、今後益々行政頼みの方向に進んでいってしまうのではと危惧しております。それらを踏まえると村営のものも求められてくるのではないかと思います。

④多様なニーズに対応した合葬墓等の整備について

- 今後、若い人達が管理するのは厳しい状況になると思慮するので、手間のかからない合葬式タイプのお墓が良いと思う。
- 自分の代で墓守がいなくなるため、納骨堂などがあるなら利用したい。
- 大前提として「ニーズがあれば」必要なのかなと思います。
- 将来、子供の住居が現在のお墓から遠くなった場合、子供にはなるべく負担をかけたくないと思っているため、合葬式のお墓や納骨堂が必要になるかもしれません。
- 合同の納骨堂を選択する人もいるので必要と思います。次の世代が選択する枠を広げてあげるためにも必要と思います。
- お盆やお彼岸の墓参りは伝統であり、ご先祖様とのつながりや季節感を感じさせてもらえる良い風習だと思っていますが、「負担だ」とか「守り手がない」と思う人も増えているのは、間違いないと思います。そういう人のために「合葬墓」は必要と思います。行政で手掛ける場合は、十分な調査研究が必要ですが。
- 私の思いは「現時点では判断できない（わからない）」であるが、人口減少、少子化を踏まえれば、従来型のお墓を管理できない家が増えることが見込まれ、合葬式を望む声は増えるものと思われる。
- 身寄りのない方にとっては、亡くなった後の心配をする事もなく、また、1人世帯の方も、あらかじめ入れるお墓があれば生きていた生活も安心すると思います。
- 少子化の昨今、いずれは個人では墓を守ることができなくなると思います。合葬式のお墓ができたら相談してから入ることを検討します。
- 先祖代々のお墓を、子供がない等の理由で、将来管理してもらえなくなる人が周りに多くいる。そういう人の中には、真剣に合葬式のお墓を探していた人がいた。これから絶対に増えてくると思う。
- 合葬墓や納骨堂があると、身寄りのない人や墓じまいした人（墓の管理者不在の人）の整理がしやすいのではないかと考えます。
- 父が亡くなり須和間霊園に墓を設けました。続いて入る人と、墓守りする人の意思が大切と考え、母、妻、子供の意思を確認してから建てました。子供には、私の世代がいなくなって墓守りしきれない場合には、墓じまいをするよう言っております。その時まで合葬墓、納骨堂が完成していて欲しいです。
- 家の繋がりが昔ほど強くないので、墓地や墓石を買っても手入れする人がなくなる可能性があるため、合同で収められる場所は、あるにこしたことはないと思います。

以前、京都の親戚の墓を訪ねたら、ロッカールームみたいな形式で驚きましたが、理にかなっていると思いました。

- 子供たちは他県での生活基盤があり、地元に戻ってくる可能性はゼロです。通常の墓地ではいずれ無縁墓地になってしまいます。合同式墓地の必要性は、時代の要請でもあります。是非結論を早く出して実行をお願いいたします。同じような意見の方を多く見かけます。
- お骨を納める場所があり、そこを生前に予約しておけば、後の面倒がひとつ減ると思うので、是非家族のいない者でも利用できる場所を作ってください。
- 子供がいない、あるいは、いても相続人にはならない。また、お墓に対する認識が希薄になっていると感じるため、公営の墓地があれば安らぐと思う。
- 現在、須和間霊園にお墓があります。引継ぐ者も一人娘で結婚はしてもしなくても、いずれは墓じまいになってしまいます。その際は合葬式のお墓にと思っています。
- これからの高齢化、少子化、子供が遠くに住んでいる等により、墓地の管理は大変になると思います。はじめは個人墓地でも何年後には合同墓地に移れたら安心です。
- 先祖代々のお墓がありますが、これからの世代は、勤務先などによって遠方に散り散りになる可能性があります。納骨堂など簡単になっていくのではないのでしょうか。

⑤樹木葬

- 村営で樹木葬を検討してもらいたい。
- 樹木葬ができる村の公営墓地を強く希望します。
- 樹木葬等が出来る、墓地公園を希望します。
- 最近では、樹木葬の需要が高くなっています。
- いずれ墓じまいし、樹木葬をしたいです。
- 緑を壊して建屋を建てるのではなく、自然を守り生かす樹木葬など、SDGsを達成するようなものを考えてほしい。
- 樹木葬式を希望します。環境面や、何よりも「自然に帰る」という意味合いから、安らぎが感じられます。
- 合葬式のお墓の中でも、樹木葬式が良いと思っています。環境にも良いし、雰囲気は自然に帰り安らかだという感じがあります。
- 親族への負担や後継者の不在を考えると、樹木葬を導入することで、埋葬の仕方を選択肢の幅が広がり、多様なニーズに対応できると思います。東海村においても、樹木葬を取り入れていただきたいです。
- 樹木葬の森林があると嬉しいです。
- 千葉あたりでは、樹木葬などの合葬式が増えていきますし、それだけニーズがあると思います。東海村でも本アンケートのようなニーズ調査を行ってみるのも良いと思います。お墓について真剣に考える良い機会にもなると思います。

- 墓という形にこだわらず、合葬式の場合は樹木葬。
- 我が家は、父母が建てたお墓がありますが、現在は使用していません。とても難しい課題です。無縁仏になってしまうのであれば、合葬式墓地の必要性はあると思います。笠間市に樹木葬があり、お墓を持たなくてすみ、とても良いと聞いています。低金銭で済むし大きくなならない樹木や花であれば、管理しやすいと思います。

⑥さまざまなお墓のあり方

- これからは、永代供養や樹木葬、また海や川にまく自然葬形式でも良い人が増えるのではないかと。
- 家族に自分のお墓のことで負担をかけたくないので、自分は海にでも散骨してもらえれば良いと思っている。その中で、個別のお墓は不要と考える人も多いと思う。
- 散骨（海）してもらおう等（許可された海域に）の方法も考えている。
- 夫婦・家族で納骨堂の同じ骨壺に納骨したい。樹木葬や散骨海葬の場合であっても、一部は納骨堂にしたいなど、様々なパターンがあるようです。
- 核家族化や少子化が進む現在、お墓も新しい形があつて良いと思います。せっかくお墓を持っていても管理できずにいるのであれば、違つたお墓の持ち方でも良いと思います。
- 個人的には「継続的なお墓の管理は難しい、納骨までは丁寧にやりたい（自分が死んだときも丁寧にやってほしい）」という方が多いと思っています。合葬式・納骨堂いずれのスタイルにするかは、村の状況に合わせるとしても、地上にある参拝所はきちんと屋根があつて、ベンチがあるような、家族で丁寧に故人を送り出せる場所になると良いと思います。
- 少子化が進む中、管理の負担や後継者問題等、近い将来をきちんと考えるなら、今までの墓地ではなく負担の少ない形を考えていくべきだと思っています。
- 自分自身のお墓の区画だけ持っている（墓石等はまだない）が、先を考えるとむしろ墓石等を建てるより、合葬式の墓に入った方が子供たちに負担や迷惑をかけないのではないかとと思う。
- 選択肢が増えると良いなと思います。
- 村内のある寺において、縁のある人を誰でも受け入れるお墓を検討中と聞いています。地方によっては墓のことを心配していないところがあるそうです。人が大きく移動する時代になっていることを受けとめた墓を考えたいです。
- 身内が傍におらず、将来自分たちのお墓を管理してくれる親族がいないため、お墓は不要と考えていました。しかし、合葬式のお墓があるなら、お世話になりたいです。死後の自分のためだけに土地を利用するのはもったいない。若い世代にその分の土地を活用していただきたいです。

- 自分の子供はどこで暮らすようになるかわからない。管理の事を考えると、従来型の墓は難しいと思う。
- お墓に関して、宗教や風習について多様性があるため、様々な形式があつていいと思う。
- 海洋散骨をしたい。

⑦従来型の墓地について

- 先祖代々、受け継いできたお墓を今後も守って行きたい。子の代、孫の代ずっと。
- 先祖代々の墓を持っているので、合葬式・納骨堂はむしろかしいが、今後のことを考えると必要になるかもしれない。
- 先代から引き継ぐ墓がありますので、お墓については特に心配はしていませんが、実はお寺事情についても、住職の高齢化など課題があります。東海村では実感がないと思いますが、地方では5つのお寺を一人の住職が掛け持ちするなど、住職の担い手不足も深刻な状況です。私もやがては今のお墓を移すなど考える時が来ると思っています。

(3)継承者不在・子どもの負担など

- 子が、墓の管理をしたくないようだ。
- お墓はありますが、引き継ぐ者が見当たらないので心配。
- 正直どうするべきか分かりません。子供はいますが、将来どうなるかわからないので子供の負担になるのだけは避けたいです。
- 現在は、少子化により、お墓や家を守っていける相続人がいなくなっているような気がします。空き家問題と同様、相続できる人がなくなった際、遺骨を守っていく場所等の提供が、今後必要になってくるような気がします。
- お墓を持つことで、次世代に負担をかけたくないという親は多いと思います。宗教に対する意識も変化しているし、お寺の檀家制度の維持も大変と聞いています。
- 子供が結婚しない限り、子供の代で墓じまいすることになるので、その負担をかけさせたくないということもある。現在、両親は健在ですが、今からお墓をどうするかを考えています。
- 引き継ぐお墓が複数あり、今後どうするか検討中。少子化に伴い、同様の悩みがある方も多くなるのではないのでしょうか。
- 妻方の両親は、現在、須和間霊園を購入しておりますが、お墓を建てるか迷っています。

- 3人娘という家族構成のため、お墓に入るのは両親のみとなり、残された家族に管理の負担をかけさせたくないという思いがあるようです。とある納骨堂も検討しましたが、結論が出ていない状況です。
- 無駄に費用がかかるため、子供を含め、遺族に世話がかからない方法を知りたい。
- 今後、少し先のことになると思うが、墓を引き継いでくれる親族がいなくなる可能性があり、その場合はどうすれば良いのか見当もつかない。無縁仏になってしまうのか。不安である。
- 実家の両親のお墓を建てたが、実家の後継者がいない。今すぐではないが、今後の管理が難しい。
- 義父母が買った墓地は、これからはお墓の管理が出来なくなると思っている。母の立場として子供には墓守はさせたくないし、そのような時代ではないので、自分の時は散骨等をしてもらいお墓を持たない選択を強く希望する。
- 墓の将来的な管理については不安が大きい。
- 合葬式や納骨堂などの管理を簡単にし、次世代への押し付けにならないようにしたい。
- 家の後継者もなく、お墓が残る親戚も多いので、これからお墓をどうするか悩みます。
- 核家族化が進み、実家が遠い人もおり、お墓の管理が大変だと思うので村で考えていくことは大切だと思います。
- 墓守のことを考えると墓を作ることをためらいます。子や孫たちが墓守のために将来の行動範囲に制約を受けるとしたらかわいそうに思います。
- 今は、自分が管理できるが、将来的に子供世代に負担となるなら、墓じまいを考えています。現在、所有しているお寺さんへ永代供養をするのか、または村営で供養可能なら、そちらも検討したいと思います。
- 子供達が県外に居住しているため、お墓を管理することが難しい。今後、墓じまいをして合同葬儀墓地の申し込みを考えている。
- 先祖代々のお墓であるにも関わらず、夫婦のみになってしまい、管理が困難になってしまった。どうしたら良いか悩んでいる。
- 合葬式と納骨堂の違いがいまひとつ分からないが、墓は従来のような家族単位だけではなく、今後後継者がいない人の墓のニーズは、より多くなると思う。
- 白方霊園に親の墓があるが、跡取りがないので、先祖の墓もある白方霊園に永代供養か納骨堂を是非作っていただきたいです。

(4)村営墓地について

①村営墓地に関すること

- これから人口減少や少子高齢化がさらに深刻化していき、また、考え方が多様化している中で、合葬式のお墓や納骨堂のニーズは高まっていくと思います。しかし、どの程の方が将来希望するのか、アンケートや意向調査等が前提として必要だと思います。その結果を踏まえて、強い希望があれば、規模や構造に関し、村民の意見に沿ったものを設計すれば良いと思います。
- 合葬式を村が設置すると、お金を納めて「あとはよろしく」と放ってしまう遺族も多くなると思われる。その一方で、きちんと管理されることを望む遺族もいるだろう。また改葬の希望があれば、対応の必要が生じるため、村の負担は増えるだろう。
- 最近、親戚が亡くなったため、お墓について親族で話す機会があり、お墓は管理が大変、一時的な費用も継続的な費用もかかるなど、遺族への負担が大きいという意見が多く出ていました。その親戚は、樹木葬にしましたが、様々な形のお墓を選択できることは良いと思いますし、皆が葬儀やお墓にかけられる資金があるわけではないため、村営のお墓があれば遺族への負担が減らせると感じたところです。
- 少子化のため、今後、お墓の管理ができないようであれば、合葬式や納骨堂の利用も有効と思う。民営で賄えない場合は村営も必要と感じる。
- これからは、ますますお墓の維持管理をする人が少なくなっていくと思います。そのため、村が代わってそれを行えば、放棄されたお墓はなくなると思います。
- 少子高齢化に伴い、お墓の維持管理や運営を考えると、個人や民間では継続性が不安定で不安を感じる。ある程度までは所有するお墓や納骨堂で対応し、将来は合葬式になっていくのではないかと。
- 時代の変化にともない、公共の施設を求める声は高まると思います。また、宗教法人に対する不信感も影響しているのではないのでしょうか。
- 須和間霊園の中に、誰でも利用できる共同墓地を作っていただきたいと望みます。自分のお墓を購入しても、子供たちは各々離れていき、私共一代限りのものとなり、管理が出来ないこととなります。
- 一軒ごとにお墓を持つのは合理的ではない。墓地の用地も広く必要で、今後問題になる。合葬式墓地の有用性をアピールしたら良いのでは。お墓と樹木葬と比較したのを見たい。
- 合葬式のお墓や納骨堂について、近隣で同様の施設があるかを確認したほうが良いと思います。民業圧迫にならなく、ニーズがあれば設置もよいかと思います。また、そういった施設を設置するにあたり近隣対策をどのように行っていくのが重要だと思います。

- 作られるとしても、どのくらいの収容数なのか、保管期間はどれくらいなのか、管理費用など、そういった面でも気になることがある。また、立地場所によっては嫌がる人もいるのではないか。多くの住民からの相談の機会を作った方がいいと思う。

②須和間霊園に関すること

- 東海村公営墓地であるから、生前から購入した。息子らに墓地等で金銭的・精神的に負担をかけないように公営方式を選択した。村公営墓地は決してなくさず、今のままでいてほしい。
- 須和間霊園の雑草の管理等も、管理費を追加してもいいからやってほしい。
- 税金を使って、お墓を管理するより他に有効に税金を使って欲しい。民間の管理で良いと思います。
- 東海村公営墓地では、和・洋と区別しているようですが、和の墓石は地震により倒壊性は大きく和・洋区別なく選べるようにしてほしいです。
- 東海村公営墓地を所有しているが、後々墓じまいを考えており、所有権の買い取りを出来るようにしてもらいたいです。
- 須和間霊園にお墓があるが、後のことを考えると墓じまいをして永代供養出来る様な施設整備も必要かと思えます。
- 現在、須和間霊園に墓地を持っていますが、将来この墓地を引継ぐ者がいなくなる可能性が大きく、「墓じまい」が必要になると思っています。この為の対応可能な「合葬式のお墓」や「納骨堂」等はお墓を持っている人の多くが望んでいると思います。「墓じまい」専用の墓所を検討することを望む。須和間霊園の未使用箇所が10%以下になるようPR等する事がまずは第一と思う。

③墓じまいについて

- 遺骨を移して墓じまいをしたい。老年・体力減衰・動作等不自由になり遠方の墓管理と墓参りが困難になりつつある。近場に墓を求めて移すか、または遺骨だけを共同納骨堂に移して墓じまいをする考えでいる。
- 私は一人っ子で、子供もいません。両親は健在ですが亡くなった後に墓じまいをするにしてもどこに、どのタイミングで相談すればいいのか分かりません。
- いつか墓じまいの代が到来し、金銭的な負担が生ずるので自分の代で処理しておきたい。

④感想等

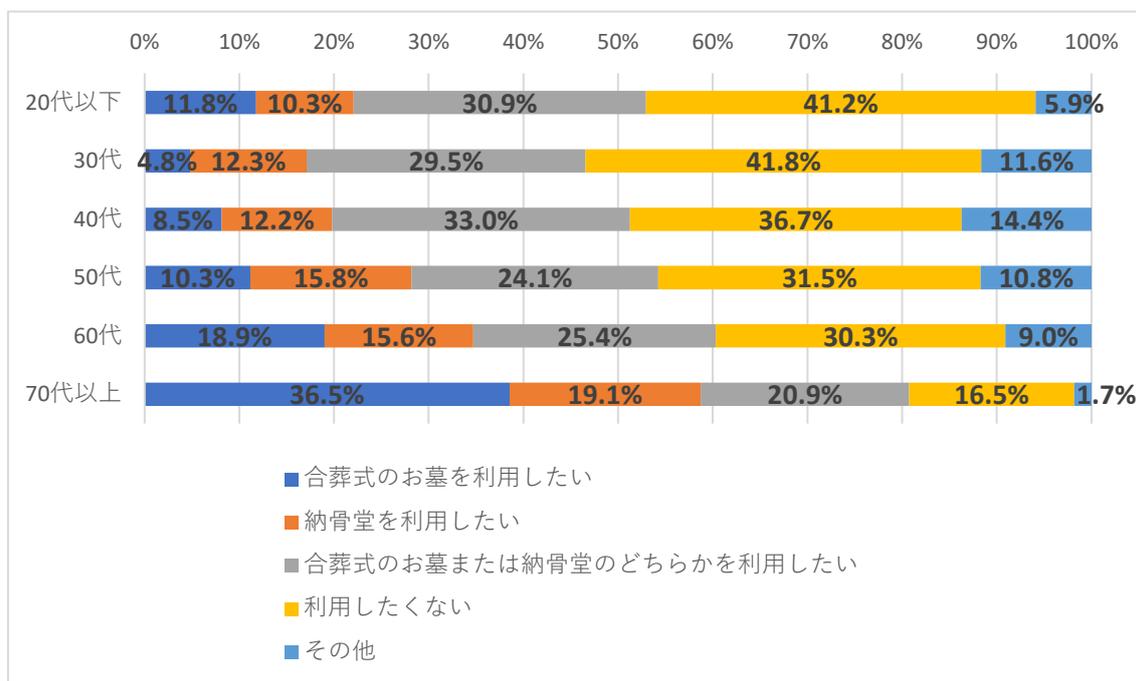
- お墓が住まいから遠い、近い等の物理的条件により、意識が違ふように思う。日立市や常陸太田市にお墓があるので、お盆やお彼岸も子供にとっては気分転換になっているように思います。

- 普段、家族と自分たちのお墓を話題に会話をすることがない。
- いずれ引継ぐ者がいなくなるため、散骨も視野に入れているが、親戚もいるので決められない。
- 祖父母については、親に任せており、親も健在なため、お墓について意識して考えることがありません。
- 自分については、後々子供には負担をかけたくないようにしたいので、お墓に入りたいという気持ちはあまりありませんが、世の中の流れに沿って進むのかなと思います。
- 永年供養等の選択もあるし、そもそも供養すらしない方もどんどん増えていくのではないのでしょうか。
- 家庭環境が異なるため、一概に言えませんが、年々少子化となる現状を理解して終活を過ごしていきたいと日々考えています。
- 墓地については誰もが直面する問題ですが、自分自身のことを思えば先送りにしています。知識も多方面にわたり、簡単には決められません。この方面の本などで勉強すればと思いますが、まだまだと先送りの状況です。
- まだ、お墓のことまでじっくりと考えてはいないし、情報収集もしていない状況だが、管理する人がいなくなる問題が多々あると思うので、今のライフスタイルに合わせて、もっと管理がしやすくなるお墓の形態を模索していく必要があると思う。民間でもう既にやっているサービスもあるかもしれないが、なにか”こんなお墓の形態もあるよ”みたいな、まとまっているものがあると便利だと思う。
- 原子力関係に就職・結婚し、家を持ち永住予定ですがお墓が無いので家族に負担をかけると心配です。村外からの移住の方は同じ心配を抱えていると思います。
- 家を世襲する概念とか、皆が寺社にお布施する習慣とか、現代ではすごく薄れているし、実際自分も子供がいないし、少子高齢化のいまを踏まえると、今後は現在のお墓の管理方法が難しくなるだろう。寺社の経営も厳しいし、なんなら墓地を運営する主体がなくなってお墓の行き場がないなんていう問題が実際にすでに起きている。
- 村として必要とするなら必要。多様性の時代において、葬儀の在り方や納骨の考え方、宗教観等さまざまだと思うので理由付けができれば。
- 宗派の継承はどうなるのか。宗派が継承されれば良いと考えるのは古いのか。
- 困っている人や望んでいる人が多数いるのならば、必要なかもしれない。
- 難しいとは思いますが、東海村は海が近いので海洋散骨なども考慮していただけると・・・子供の世代の考えですが「お墓」があるとそれがあある土地(場所)に縛りつけられるというイメージがあり、下地が無いものからすると「お墓をつくるのは金額が高額すぎて無理」となるのです。
- 合葬式墓地より永代供養墓が良い。「歴史と未来の交流館」や「公園」も良いがそれ以前に計画してほしかった。私の妻は隣町の永代供養墓を購入している。

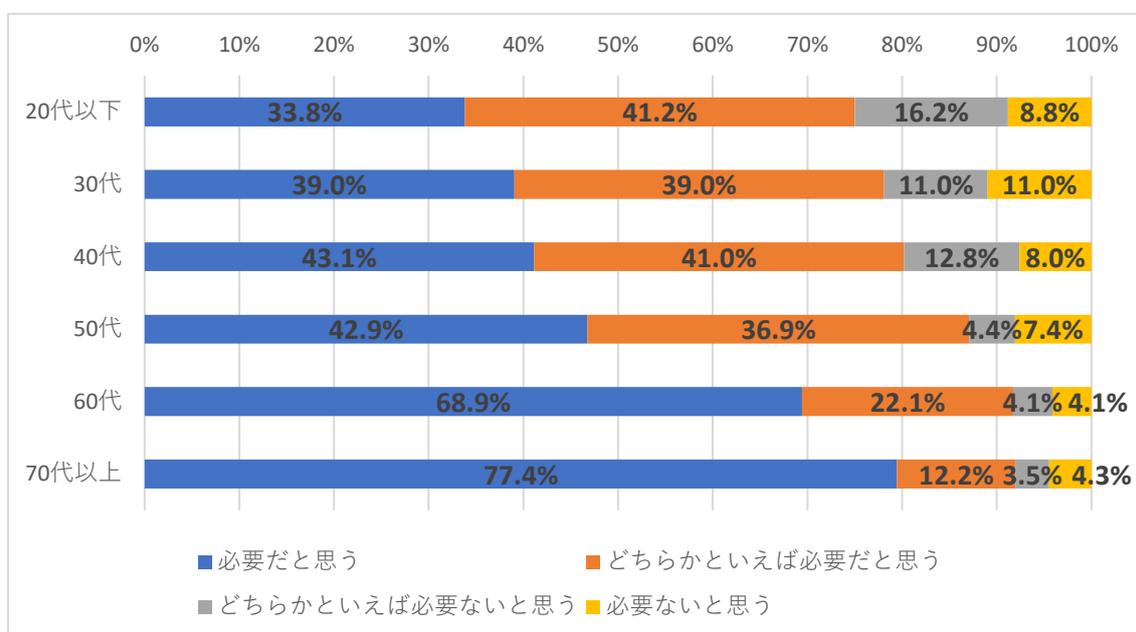
- 今後、形があってもないような世の中になってくる（バーチャル的）と思います。そのような世界になっていく中で、変わらないのはご先祖様を敬う気持ちは忘れてはならないと思います。そういう人の心であって欲しいと思い、伝えていきたいと思えます。しかし、新しい形に変化する事も必要だと感じます。
- 火葬から、骨を残さず焼くシステムに変えたら墓地の必要はなく、仏壇のみで済む。
- 村外にお墓を建立させていただきました。個人的には「合葬式のお墓＝無縁仏」のイメージがあります。
- お弁当を持って行きピクニック気分で楽しめる場所にしてほしい。
- 難しい問題ですが、行政がアンケート等を取ってくれた事によって、住民サービスの向上につながると思います。
- 永代供養のお墓を希望します。
- インフラとしての村営の墓地はありだとしても、成仏（葬儀等宗教行事を含む）に行政が関わることには違和感を覚える。
- 身寄りがいない方、親戚がいても音信不通の方などに、終活として永代供養を周知しないと、今後も高齢者は増えていくので、無縁仏がいっぱいになってしまうのではと個人的に思いました。
- 私の実家は山口県で長男です。現在は茨城県なので今まで墓の購入に迷っています。墓の管理で2県は無理なので良い案はありますか。
- 村松虚空蔵尊などで永代供養をして下さったらとても良いと思います。
- 改葬したくても改葬先がなく困っている。（永代供養は断られてしまった）
- お墓などに関する相談窓口があればよいと思います。
- 樹木葬の場所を紹介してほしい。
- 散骨などしてくれる業者などの情報などがあったら良いと思います。
- 合葬式のお墓や納骨堂の整備とともにいわゆる墓じまいのサポートもあると嬉しいです。
- お墓のしまい方を具体的に知りたい。

(2) クロス集計

ア 年代×「合葬式のお墓」または「納骨堂」の利用希望

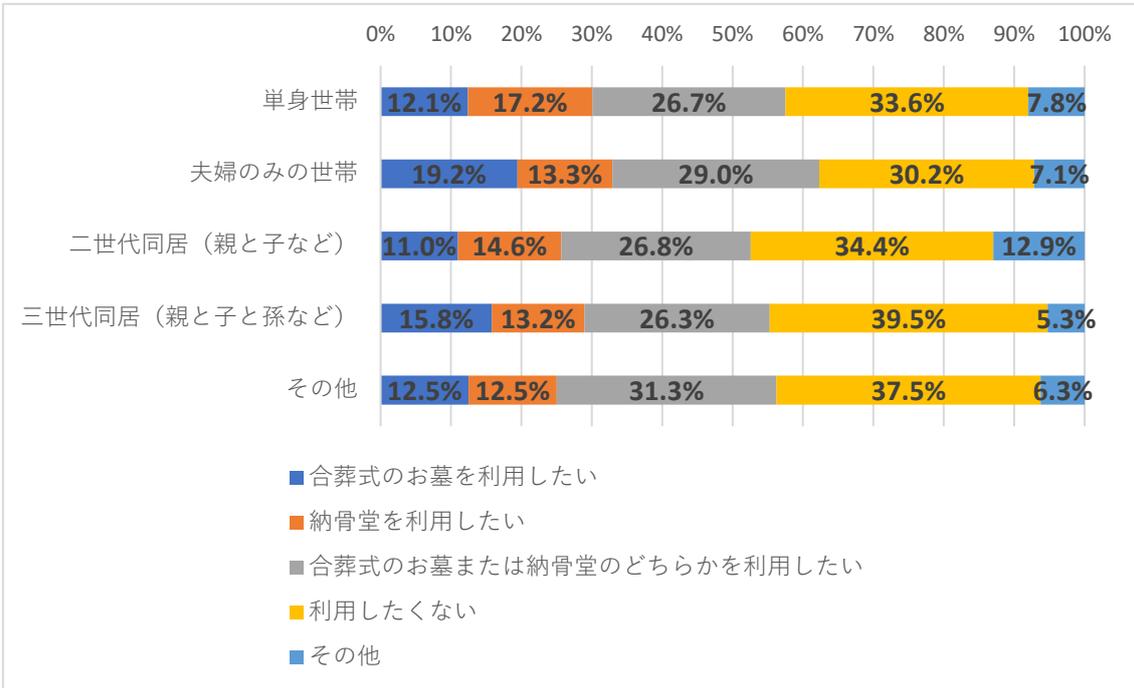


イ 年代×村営の「合葬式のお墓」または「納骨堂」の必要性

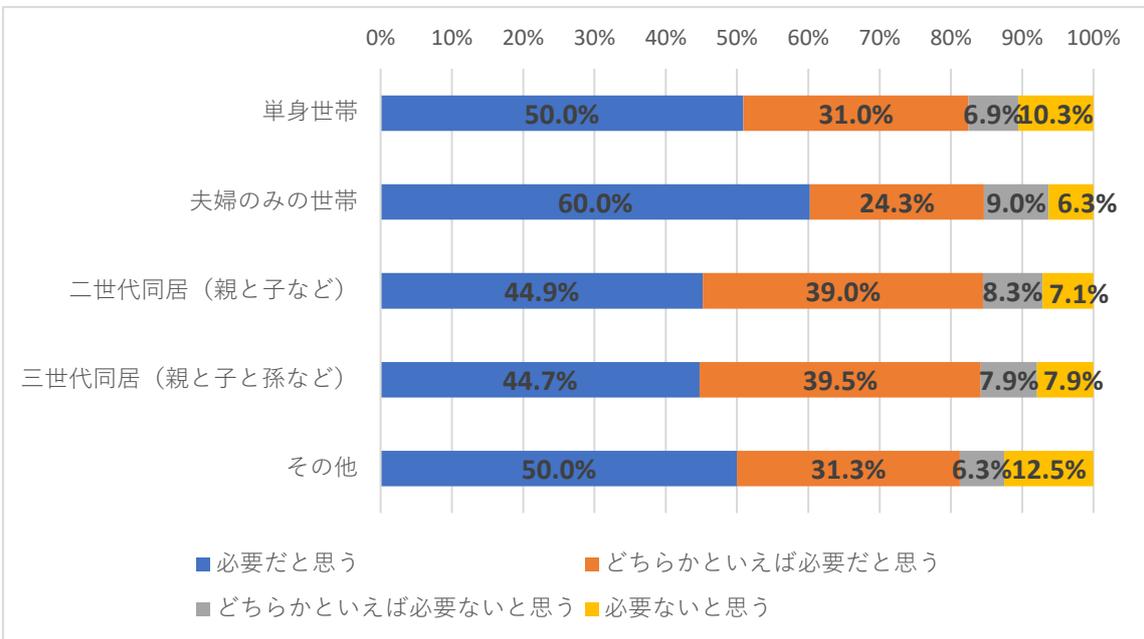


「合葬式のお墓」または「納骨堂」を「利用したい」と回答した割合と、村営の「合葬式のお墓」または「納骨堂」が「必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」と回答した割合は、年代が高いほど高くなっています。

ウ 世帯構成×「合葬式のお墓」または「納骨堂」の利用希望



エ 世帯構成×村営の「合葬式のお墓」または「納骨堂」の必要性



「合葬式のお墓」または「納骨堂」を「利用したい」と回答した割合は、単身世帯や夫婦のみの世帯で高く、村営の「合葬式のお墓」または「納骨堂」が「必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」と回答した割合は、夫婦のみの世帯で最も高くなっています。